

スフェーンのダブリングと原石



(写真1)
フェースアップで明瞭なダブリング

Photo by Ikuo Atsumi



(写真2)
楔形の原石

Photo by Ikuo Atsumi

2021年、日本では63年ぶりに誕生石が追加された。7月の誕生石に加わったスフェーン(写真1)はチタンとカルシウムの珪酸塩鉱物(CaTiSiO_5)である。チタン(Ti)を含むことからチタナイト(Titaniti)やタイタナイトとも呼ばれる。

スフェーンの特徴は強い多色性を示し、分散度(ディスパージョン)が0.051とダイヤモンドの0.044より高いことに起因して、強いファイアを放つことだ。また、バックファセットのダブリング(写真1)が明瞭である。結晶系は単斜晶系で、 $\{001\}$ と $\{111\}$ に成長し楔(くさび)形(写真2)を呈することが知られている。

文章：渥美郁夫氏
株式会社宝石科学アカデミー
(JGS会員)

次ページに大きな写真があります

